



はちまんたい

議会だより

HACHIMANTAI GIKAI DAYORI

14

No. 2009年1月22日

主な内容

- 新年のあいさつ.....2
- 12月定例会を開催.....4
- 一般質問に12人が登壇.....6



写真・第82回全日本学生スキー選手権大会1部複合で2種目に準優勝した畠山長太選手（早稲田大3年・安代中出身）

謹賀新年



明けましておめでとうございます。1月12日から18日まで、合併後初の全国大会となる第82回全日本学生スキー選手権大会が、本市を舞台に開催されました。全国から集まつた精銳が大いですね。議員一同、市民の幸せと市勢発展を目指し頑張ります。本年も八幡平市議会をよろしくお願いします。

新しい年を迎えるにあたり、皆さまのご意見を聞き、八幡平市のさらなる発展に尽力することを誓い、新年のあいさつといたします。



副議長 高橋 光幸

健やかに新春を迎え、お喜び申し上げます。景気後退の大きな局面にあります

が、市の発展と飛躍を目指し議員一丸で頑張ります。



議長 濱川 健則



三浦 正信

誠に厳しい社会情勢、あきらめず夢に向かって前進のみ、今こそ田舎の底力を示す時。初心に返り住民とともに懸命に努力します。



勝又 紘一

厳しい政治経済情勢の中で、何が出来、何をもって存在するにたるかを確かめつつ、牛歩であつても市勢発展のため邁進いたします。



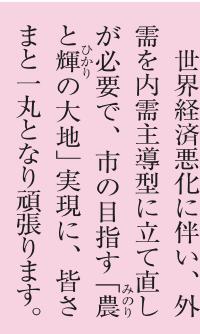
関 義征

自然・やさしさ・創造、輝く明日を目指し、市民との対話と理解で責務を果たすのが基本姿勢。共に考え積極的に政策提言します。



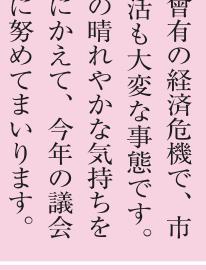
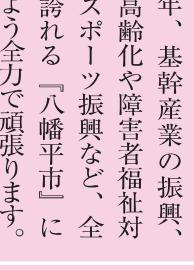
工藤 忠義

今年の最大の政治課題は、厳しい経済状況から市民の暮らしを守ることにあります。全力で挑戦したいと思っています。



米田 定男

内外の厳しい経済情勢が続く中、企業誘致や観光などに力を入れ、市民生活向上のため、輝くまちづくりを目指します。

<p>市民が何を望み、願い、困っているか小さな声も市政に反映できる取り組みに努めています。皆さまの安泰をお祈り申し上げます。</p>	 <p>松浦 博幸 ひろゆき</p>	 <p>大和田 順一 じゅんいち</p>
<p>暮らし、営業が大変になつています。無駄遣いはやめ、福祉・暮らしを最優先する八幡平市政を目指し、力を尽くします。</p>	 <p>高橋 悅郎 えつろう</p> <p>厳しい新年を迎えました。新庁舎への多額の投資はやめて、暮らしを守る投資を優先するため、皆さんと力を合わせ頑張っていきます。</p>	 <p>関 善次郎 ぜんじじろう</p> <p>昨年は、世界的な経済混乱に終始した1年でしたが、足腰の強い地域産業を育てるために、引き続き取り組んでいきます。</p>
<p>新春に当たり一句「平成の、この世に生まれ、はや二十歳、さらに自指そう、平らか成る」今年もよろしくお願ひします。</p>	 <p>高橋 守 まもる</p> <p>激動の年を、従来の考え方などられない新しい発想をもつて、新生八幡平市の農と輝の大地の将来像の早期実現のため努力します。</p>	 <p>伊藤 一彦 かずひこ</p> <p>目まぐるしく変わる経済の中、今一度原点に戻って市の在り方を再点検し、活力のある雇用を生み出す観光地づくりを目指します。</p>
<p>地域への熱き思いを秘め八幡平市の均衡ある発展のため頑張ります。市民の一層のご指導ご協力を賜りますようお願い申上げます。</p>	 <p>田村 孝 たかし</p> <p>牛歩のごとく一歩、一歩を着実に！ 皆さまの負託に応えるよう初心に戻り全効力で頑張ります。一層のご指導ご協力をお願ひします。</p>	 <p>田中 純司夫 じゅんじふ</p> <p>議会の活性化および理想の地方自治を目指して、努力したいと思っています。皆さまのご支援ご指導よろしくお願いします。</p>
<p>また一つ、皆さまと一緒に年を取ることができました。何事も皆さまと一緒にすることを忘れず、市民の代弁者として頑張ります。</p>	 <p>遠藤 公雄 きみ お</p> <p>工藤 直道 なおみち</p> <p>次代を担う若者が安心して暮らせるまちづくり推進のため、議会一丸となり取り組んでいきますので、ご理解ご協力をお願ひします。</p>	 <p>吉川 津好 つよし</p> <p>少子高齢化や障害者福祉対策、スポーツ振興など、全国に誇れる『八幡平市』になるよう全力で頑張ります。</p>
<p>厳しい経済社会の中、各分野での検証をし、八幡平市の将来に向けて市民の声を、市政に提言して共に繁栄できるように頑張ります。</p>	 <p>工藤 つよ剛 つよたけ</p>	 <p>渡邊 正ただ ただ</p>



12月定例会

15議案を原案のとおり可決

出産一時金を38万円に増額

平成20年12月11日から17日まで、市議会12月定例会を開催しました。一般質問では12人が登壇し、県に対する要望の状況や、教育・文化の充実などについて質問しました（6～17ページ参照）。また、今回の定例会では、「八幡平市放課後児童クラブ施設条例」など全15議案を原案のとおり可決したほか、継続審査の1件を含む2件の請願は、いずれも採択となりました（5ページ参照）。

全会一致で可決したもの

ブ施設条例

◎岩手県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更の協議に関し議決を求めるについて

広域連合組合議員の数を、20人から35人に改めるものです。（3月1日施行）

問 市長が組合議員になつてているが、今後の対応は。

答 個人的には、3月1日の施行前にけじめを付けるべきと考える。

問 児童クラブの現状と今後は。

◎八幡平市放課後児童クラブ

1月13日、白無垢・袴姿の婚礼衣装で市役所を訪れ、婚姻届を提出した遠藤壯恭さん（西根寺田）・夢子さん（旧姓佐々木）＝田頭＝ご夫妻

現在待機者はいない。将来的には、不確定だが旧大更公民館の使用を検討したい。

問 松尾地区の3施設は児童館条例で、安代・西根地区の10施設は指定管理者制度を取るが、違いは何か。

答 児童館は6年生まで、放課後児童クラブはおおむね3年生までが対象となる。児童館は施設や要件が整わなければできない。

問 指定管理移行で、将来有料になることはあるのか。

答 実費のおやつ代以外は、当面考えていらない。

問 大更小学校区の放課後

◎八幡平市行政組織条例の一部を改正する条例

現在の「企画総務部、生

活福祉部、産業建設部、上下水道部」を、「企画総務部、市民部、福祉部、産業部、建設部」とし、安代総合支所に土木林業課を置くものです。（4月1日施行）

問 安代総合支所に所管替えする土木林業課の権限は。

答 林業に関する最終決裁

者が安代総合支所長となり、農業土木は産業部が、一般土木は建設部が所管する。松尾や西根の林業関係者の窓口も安代総合支所か。西根と松尾の総合支所でも窓口対応はする。

◎八幡平市奨学金貸付基金条例の一部を改正する条例

奨学金と高等学校等通学費の貸付基金を一本化するものです。（4月1日施行）

問 基金償還の猶予、免除は、連帯保証人も含むのか。

答 連帯保証人も含む。

◎八幡平市国民健康保険条例の一部を改正する条例

35万円の出産育児一時金を、38万円に増額するものです。（1月1日施行）

◎平成20年度八幡平市一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出それぞれに46

65万円を追加するもので、特別会計4会計と事業会計2会計の補正予算も、全会一致で可決しました。

（一般会計の主な内容）

▼年金特別徴収個人住民税システム改修業務委託料1
577万1000円

▼福祉灯油購入助成費21
000円

（一般会計への質疑）

問 固定資産税の現状地目変更はどう進めるのか。

答 固定資産税は現況課税が基本で、航空写真と台帳が異なる地目を確認する。登記上は地目変更しない。

問 入湯税の課税免除対象者に、スポーツ大会競技役員や学習合宿は含まれるか。競技役員は含まない。

答 競技役員は含まない。学習合宿は、今後検討する。

問 職員給与返還の原因は扶養認定の限度額超過

1件と、住宅住居手当に対し、家賃下がりを申告しなかつた2件である。

問 福祉灯油の対象世帯は未使用牧野の今後は。

答 昨年同様で、1世帯8000円を限度に助成する。

問 丑山牧野と根石牧野を、復帰でき次第返還する。

答 最初は粗飼料基盤が少なく、国有林を借りて草地牧野にしたと思う。返地は後ろ向きの考えではないか。

問 関係機関と議論し返地を決めた。対象牧野は採草

を本年度で終了する。今後は

利用者が非常に少なく、この結果を踏まえ検討する。

問 駅からの2次アクセス

を本年度で終了する。今後は

工事と連携し、中小企業を

支援する。

問 市総合運動公園野球場

グラウンドの整備計画は。

答 暗渠改修を、春の使用開始までに間に合わせたい。

問 災害防止に係る尻志田川と山後線の県との協議は。

答 市道の横断面が小さく、市が拡大を計画した。

問 特定健診受診者負担金減額の理由は。

答 70歳以上の負担金を無料にしたためである。

問 市独自で心電図、眼底検査を追加すべきだ。

答 もう1年継続して、問題点を検証したい。

問 無保険証世帯の児童に保険証を出すべきだ。

答 21年4月の予定だったが、早期実施を検討する。

ではなく放牧が目的で、山化しているのが実態である。

問 いわて希望農業担い手者不慮の事故に遭い、導入に至らなかつた。

答 ホウレンソウ収穫機械を導入予定だつたが、当事者があつた。

問 焼走り、安比間の周遊バスの運行状況と今後は。

答 利用者が非常に少なく、この結果を踏まえ検討する。

問 駅からの2次アクセス

を本年度で終了する。今後は

工事と連携し、中小企業を

支援する。

問 市総合運動公園野球場

グラウンドの整備計画は。

答 暗渠改修を、春の使用開始までに間に合わせたい。

問 災害防止に係る尻志田川と山後線の県との協議は。

答 市道の横断面が小さく、市が拡大を計画した。

問 特定健診受診者負担金減額の理由は。

答 70歳以上の負担金を無料にしたためである。

問 市独自で心電図、眼底検査を追加すべきだ。

答 もう1年継続して、問題点を検証したい。

問 無保険証世帯の児童に保険証を出すべきだ。

答 21年4月の予定だったが、早期実施を検討する。

問題を含めて検討したい。

問 大地域商店街衰退の原因と閉店件数は。

答 非常に閉塞感が漂っている。11月末での閉店件数は倒産7、廃業2、任意4、その他1の計14件である。

問 都市計画マスタープランの変更手続きの進め方は。

答 都市計画区域の見直しが必要となつた。今後は商工会と連携し、中小企業を支援する。

問 市総合運動公園野球場

グラウンドの整備計画は。

答 暗渠改修を、春の使用開始までに間に合わせたい。

問 災害防止に係る尻志田川と山後線の県との協議は。

答 市道の横断面が小さく、市が拡大を計画した。

問 特定健診受診者負担金減額の理由は。

答 70歳以上の負担金を無料にしたためである。

問 市独自で心電図、眼底検査を追加すべきだ。

答 もう1年継続して、問題点を検証したい。

問 無保険証世帯の児童に保険証を出すべきだ。

答 21年4月の予定だったが、早期実施を検討する。

請願・発議案 2件とも採択・決定

12月定例会では、9月定例会で継続審査としていた1件を含む請願2件を審議しました。採決の結果、両請願とも「採択」と決定。併せて発議案を可決し、意見書を国に提出しました。

◎放射能を海に流さないことをする法律、放射能海洋放出規制法（仮称）の法律制定を求める請願（請願者・重茂漁業協同組合ほか2団体）

この請願は、放射性廃液海洋放出の規制を求めて提出され、9月定例会で継続審査となっていました。（付託を受けた総務常任委員会では、審査の結果、「願意は妥当と認められるが、放射能除去装置の開発が未確立であるなど、請願項目の実現が厳しいと思われるため、趣旨採択すべきものと決定した」との審査報告を行いましたが、本会議では「採択」と決定。意見書を国に提出しました）

◎介護保険制度の改善を求める請願（請願者・県社会保障推進協議会ほか1団体）

この請願は、介護報酬の引き上げや職員の給与・労働条件の改善などを求めて提出されました。（付託を受けた教育民生常任委員会では、審査の結果、「必要な介護サービスを利用できるための環境整備が必要であるため、採択すべきものと決定した」との審査報告を行い、委員長報告のとおり「採択」と決定。意見書を国に提出しました）

一般質問

ここが

今回質問した項目

- ・県への要望について
- ・地域医療について



新生会 田村 孝 議員

聞きたい

県への要望状況は

岩手国体主会場誘致など15項目

きたいと考えている。

田村議員 本市を取り巻く環境は、依然として厳しいと思う。県への要望に対する県からの答弁と、話の内容を伺いたい。

市長 重点項目として要望項目は、企業誘致の推進ほか7項目、新規要望として2巡目岩手国体主会場の誘致など4項目、合わせて全15項目を知事に要請したところである。要望に対しても県からは、提言などの趣旨に沿つて措置したもの、実現に努力をいたしているもの、当面は実現できないものの、実現が極めて困難なものという分類により回答をいただいている。

田村議員 本市唯一のバイパス第1期工事が終わったが、第2期工事についてはどうか。

市長 おかげさまで西根バイ

パス第1期工事が完成し、イバス第1期工事が終わったが、第2期工事についてはどうか。

たが、バイパスは県工事であり、国の補助金で県が工事をするという事業である。工事の進展については、道路特定財源の一般財源化という懸念があつたが、道路財源は従来どおり確保できる見通しとなりほつとしている。その財源を国にどう西根バイパスへ配分してもらえるのかが最大の懸案事項だと認識している。県の計画としては、今後はこのバイパスの進捗に全力を挙げるという姿勢である。平成26年開通をめどに取り組んでいくということなので、

どうなっているか。

田村議員 前期基本計画では、西根病院施設を移転新築する計画になつてているが、市長 現在の施設は昭和50年5月に建設し、平成4年に病棟、管理棟の増築、平成12年にリハビリ棟の増築、平成16年に屋根、外壁の塗装工事を実施した。来年度は耐震診断を実施し、建築物の状態を把握する予定である。加えて、本体は建築後33年経過し、合併後10年となる平成27年には地方公営企業法による病院の耐用年数39年に達すること、あるいはバイパス整備促進の修繕費用もかさんできてないこと、用地の手狭さな

どを検討した結果、大規模改修よりも移転新築がよりベストであろうという観点で計画された。建築時期は、第1次市総合計画策定時に

合併後10年以内とし、平成23年度から5年間の後期基本計画に位置付けているが、具体的な検討には入っていない。



県に20m級ジャンプ台の整備を要望しましたが、実現が極めて困難との回答を受けました（写真・練習に励む田山スポーツ少年団の子どもたち）

一般質問

ここが



八起会 工藤直道 議員

聞きたい

今回質問した項目

- ・教育・文化の充実と交流施設について
- ・地域振興について
- ・通学路の交通安全対策について

教育・文化の充実と交流施設の必要性

新たな地域文化の創造にぜひ必要

毎年市民で満員となる生涯学習推進大会「学びのひろば」。ことじは1月25日に西根地区市民センターで開催されます。



工藤議員 協働のまちづくり事業は、市民の意見が行政に反映し、自主的な地域活動を企画運営できる事業として評価する。しかし反面、「各地域が築き上げてきた歴史と伝統のある各種イベントや祭り事業などが開催地の統一化、固定化されることにより、地域振興が衰退になるのは」と言ふ住民からの慎重な意見が

住民の意見反映した 地域振興を図るべき

工藤議員 協働のまちづくり事業の意見を聞き、財政、建設時期、施設内容など検討する。

市長 道路改良事業の実施について、歩行者の数、通学路の有無など考慮し、ハーデ面ソフト面を持つて施設整備を推進していく。

交通量の増加に伴う 交通安全対策が必要

工藤議員 西根バイパスは全般的に街灯が少なく、通学や防犯上危険である。ニュースや新聞などで、暗い所での犯罪が多く聞かれるが、市の役割について伺う。

建設課長 防犯上必要な場所については今後検討し、県に要望を実施していく。

工藤議員 市総合計画審議会の前期基本計画案の答申では、教育・文化の充実について、「市民が主体的に芸術文化活動、学習活動伝承活動などをを行う拠点となる多目的型の文化交流施設の調査検討を行う」と示さ

れているが、計画はどのよう

に進んでいるのか。また、市長は芸術・文化的振興と必要性についてどのような見解を持っているか伺う。

市長 文化交流施設については、合併前に旧西根町で

多目的交流拠点施設文化総合センター、旧松尾村では生涯学習センターの建設事業計画があった。その後、合併協定に基づいて市総合計画に盛り込まれ、調査検討をすることとした。第一次総合計画に掲げている「豊かな創造性あふれる人材のまちづくり」の実現のため、多目的文化交流施設は将来を担う子どもたちの教育の場として新たな地域文化の創造にぜひ必要と考えており、今後市民、文化団体の意見を聞き、財政、建設時期、施設内容など検討する。

一般質問

ここが

今回質問した項目

- ・博物館、資料館について
- ・市の広告収入について
- ・市民の公益活動への補償について



緑松会 古川津好議員

聞きたい

博物館や資料館の再編

地域の特徴を反映したものへ

古川議員

安代町ふるさと

では、どう考えるか。

教育長

それぞれが、同じ

ことをやるのはなく、こ

の提案のように特徴を生か

し、特化していく事が必要

と考える。

古川議員

各自治会などを

中心に、道路の草刈りなど

いろいろな公益活動が行わ

れている。その際に参加者

が傷害を受けたり、誤って

第3者を傷つけてしまつた

りした場合、他の自治体で

は、市が保険料を負担し補

償する制度がある。八幡平

市もこのような制度を取り

入れられないか。

古川議員

地域の特色を反

映する方法として、松尾は

「松尾鉱山博物館」、西根は

「農業博物館」、安代は「漆

器博物館」、松尾のさくら

公園は、「旧観光協会の建物

を利用し、ストーンサーク

ルもある事から「縄文博物

館」というまとめ方につい

る方向で検討を進めている。

調査検討はしたい。

ホームページなどで
広告収入得る考えは

公益活動に参加して
ケガした場合の補償

資料館は、合併時に八幡平市博物館に名称が変更され、松尾と西根の歴史民俗資料館は、条例では分館となっている。博物館という名称にふさわしい展示、施設整備が必要と考へる。再編などを含めて今後の在り方をどうするか。

教育長 八幡平市内の文化財を内外に周知、啓発を図るためにも、地区別の資料収集展示から、地域の特色を反映した展示収集が必要と考える。

古川議員 市のホームページや広報、さらには市民への案内物の封筒などに企業の広告を掲載して、市の収入にする考えはないか。

企画総務部長 集中改革プランの中で、歳入確保対策が項目として挙げられており、広報紙、公用車やホームページに広告掲載し、歳入の確保対策を図るという計画も載っている。来年度、市の広報紙、あるいはホーミページに広告を掲載させ

ての活動を保証することは、保険制度上の対象外となる部分や免責事項があり難い。事業実施団体が個別に保険に加入し対応する事が確実である。しかし、「協働のまちづくり」の観点か

は、市が保険料を負担し補償する制度がある。八幡平市もこのような制度を取り入れられないか。

市長 公益活動を行うすべ

ての活動を保証することは、保険制度上の対象外となる部分や免責事項があり難い。事業実施団体が個別に保険に加入し対応する事が確実である。しかし、「協働のまちづくり」の観点か

は、市が保険料を負担し補償する制度がある。八幡平市もこのような制度を取り入れられないか。

古川議員 地域の特色を反映する方法として、松尾は「松尾鉱山博物館」、西根は「農業博物館」、安代は「漆器博物館」、松尾のさくら公園は、「旧観光協会の建物を利用し、ストーンサークルもある事から「縄文博物館」というまとめ方について検討を進めている。

古川議員 各自治会などを中心に、道路の草刈りなどいろいろな公益活動が行われている。その際に参加者が傷害を受けたり、誤って第3者を傷つけてしまつた

りした場合、他の自治体では、市が保険料を負担し補償する制度がある。八幡平市もこのような制度を取り入れられないか。



旧松尾鉱山の資料などが展示されている松尾地区民俗資料館

一般質問

ここが



無会派 北口 和男 議員

聞きたい

今回質問した項目

- ・自治体交付金について
- ・中小企業対策について

国の総合対策交付金対応は

5分野の事業を申請した



多くの観光客でにぎわう八幡平山賊まつり

北口議員 国の補正予算第1号において地域活性化・

はいくらか。
はいくらか。

緊急安心実現総合対策交付金が実施されるが、総合対策実施計画の内容と申請の有無、および交付見込み額

市長 本市では、インフルエンザ予防接種業務委託、福祉灯油助成、平館保育所外部塗装等改修、デントコ

興対策事業を計画し、申請を行った。交付対象経費は3307万6000円で、交付見込み額は3000万円の見込みである。

利子補給率とならないので融資限度額の引き上げ枠の拡大を行ったところでもあり、近隣市町村の融資制度の中においても高い

度から融資限度額の引き上げ枠の拡大を行ったところでもあり、近隣市町村の融資制度の中においても高い

利子補給率となっている。本年額補給を行っている。本年

利子補給かさ上げを

中小企業融資に対し

北口議員 原材料価格高騰

対応など、緊急保障制度実施における本市の対応策はどうか。

北口議員 100年に一度

市長 国や県の支援に加えて、本市の融資制度活用を広報などで周知徹底し、市商工会や各金融機関との連携を図り、中小企業者に対し金融対策を講じていくものである。

北口議員 商店街活性化支援対策の継続と、さらなる充実強化が必要と思うが、どう考えるか。

市長 平成20年度は6地区、商店街の7事業に支援し、さまざまな事業を開拓している。同一事業に対しても、3年を限度とし、自立した事業を目指しており、新規事業に対しても積極的に支援する。

北口議員 本市の中小企業融資に対する利子補給のか

さ上げが必要であると思うがどうか。

市長 市中小企業振興資金融資、年1・5%以内での利子補給および保証料の全額補給を行っている。本年

一般質問

ここが

今回質問した項目

- ・誘致企業対策について
- ・農業問題について



新生会 渡邊 ただし 正 議員

聞きたい

新しい企業誘致対策は

渡邊議員 世界的な経済状況変化に伴う、新しい企業誘致対策は何か。

市長 引き続き誘致企業の情報収集やフォローアップに努め、地域資源を生かした物流、倉庫関連企業、農林関連企業をターゲットとした企業誘致活動を行う。

渡邊議員 上場企業や大手企業の誘致だけではなく、市内に本社を置く元気な企業にけん引者になつてもらい、八幡平市内需型の企業誘致に変え、適用基準規制の緩和をしてはどうか。

企業対策室長 今の融資制度、助成制度は国、県と運動している。今後の国の経済対策の動向も踏まえ、検討課題として取り組みたい。

渡邊議員 誘致企業エコワのその後の状況を伺う。

市長 盛岡簡易裁判所に対し、八幡平トラウトガーデ

ン売買契約解除に伴う申し立て、株式会社エコワから違約金の減額と分納を求め異議申し立てで、裁判所に移送され、第1回公判が12月3日に行われた。

渡邊議員 契約内容は、八幡平市に手落ちがない認識でいいか。減額して和解もあるのか。

商工観光課長 市に手落ちはないので、裁判所に申し立てた。減額和解の過程で検討していく。

渡邊議員 西根ショッピングセンターの対策についてはどうか。

市長 行政として最大限対応することなどを協議しており、組合側と認識の統一を図っている。市は都市計画マスターplanの変更を前倒しし、地区計画に開発

整備促進区を定めることについて双方了解した。今後

渡邊議員 遊休農地の有効利用市独自の助成が必要

渡邊議員 遊休荒廃農地の有効利用の市独自の助成、必要性の方向について伺う。

市長 集落営農組織や担い手農家の利用集積を進め、必要であれば国の事業を活用、有効利用を図る。基幹農畜産物の再生価格保障制度の生産振興対策を国、県に働き掛ける。

渡邊議員 国内自給飼料で肥育し、安心安全な牛肉として短角牛を八幡平赤牛として全国発信してはどうか。

市長 試験研究機関、繁殖農家、肥育農家を巻き込んで

は、県マスタートープランの変更案作成、地区計画素案作成など、早期建設開業に向けた条件整備による支援を行っていきたい。

で30年やつてきたが、欠点も多いので、いろんな研究をぜひ提案していただきたい。

なので、ぜひ八幡平赤牛の発信をお願いしたい。

地域資源を活用



東北自動車道西根IC経由で全国から到着した商品の、仕分けや配送を行う大手衣料品店の盛岡商品センター

一般質問

ここが



緑松会 伊藤一彦 議員

聞きたい

今回質問した項目

- 八幡平市総合計画の進捗状況を示せ
- 市長の選挙公約の進捗状況を示せ
- 緊急経済対策について

市総合計画の進捗状況は

計画事業数の65.5%達成



焼走りと八幡平温泉郷を結ぶ路線として整備が進む岩手山1号線

伊藤議員

旧3町村の合併で新生「八幡平市」の将来像である「農と輝の大地」の実現に向けて、平成18年に策定した総合計画の進捗状況を示せ。

市長

平成22年までの前期計画216事業のうち、市の事業主体119事業中の78事業に着手している。残りの97のソフト事業も、国、県に対する要望の展開や各

伊藤議員 合併協議会の協定書の重要事項を視野に当地の豊かな自然、資源を活用し、市民の所得向上をうたい、掲げた3プロジェクト、12項目の選挙公約に対する進捗状況を、任期を1年切った現段階でどのように評価しているのか。

市長 旧松尾鉱山公園整備、農業振興支援センター、癒し型滞在観光振興、工事入札については、地元業者発注率が公約の80%を大きく上回る92%に至っている。子育て支援、通学生徒の定期券助成、自治会活動補助金などなど、公約は順調に具体化、実現化していると認識している。

今後実施する施策に諸課題が数多くあるが、残された数ヶ月の任期で、1期目の総仕上げの予算編成に当

12項目の選挙公約をどう評価しているか

伊藤議員 合併協議会の協定書の重要事項を視野に当地の豊かな自然、資源を活用し、市民の所得向上をうたい、掲げた3プロジェクト、12項目の選挙公約に対する進捗状況を、任期を1年切った現段階でどのように評価しているのか。

市長 旧松尾鉱山公園整備、農業振興支援センター、癒し型滞在観光振興、工事入札については、地元業者発注率が公約の80%を大きく上回る92%に至っている。子育て支援、通学生徒の定期券助成、自治会活動補助金などなど、公約は順調に具体化、実現化していると認識している。

今後実施する施策に諸課題が数多くあるが、残された数ヶ月の任期で、1期目の総仕上げの予算編成に当

種計画も順調に進んでいる。今後も限られた財源を効率的に活用して、市の均衡ある発展を図るために計画が実態と離れることのないよう

に進める。

たっていきたい。

雇用情勢悪化進む中緊急経済対策が必要

伊藤議員 世界的金融危機で正社員解雇、リストラ、新卒採用取り消しなど雇用情勢の悪化が最悪化している中、市民の生活を守るために緊急対策と新卒者の状況を示せ。

市長 中小企業を取り巻く環境は、県内の有効求人倍率も6ヵ月連続低下で依然と厳しいと認識している。市民の生活安定につながる雇用確保のための支援は重要なと考へる。

伊藤議員 平館高校の平成20年度における就職状況は、就職希望者50人のうち、内定者は29人で、内定率58%が現在の状況である。国、県の施策および本市の融資制度などを周知し、関係機関と連携して、雇用確保の情報に銳意努める。

商工観光課長 特に、年末には商工金融110番を設けて、労働、雇用の相談窓口を、県と連携を取りながら、徹底してやっていきた

一般質問

聞きたい

新庁舎併設駅の市負担は

基本計画策定で詰めていく

については、当然市の負担といつた部分にもなってくるが今は算出してはない。

職員の周知徹底を図り、共通意識を持つて業務に取り組んでいる。この経営指針

だ、今後病院の移転新築計画と合わせて検討していく。

副市長 医療懇談会の報告書の位置付けは。

高橋議員 庁舎建設に伴うJR花輪線活性化基本調査に357万円予算化しているが、調査結果はどうか。
市長 新庁舎建設に伴う併設駅設置は有用な手段であ

高崎議員 守倉建設基本計
について、当然市の負担
といった部分にもなっていく
るが今は算出していない。
今後の基本計画策定で議論
し詰めていきたい。

職員の周知徹底を図り、共通意識を持つて業務に取り組んでいる。この経営指針は、中長期的経営ビジョンになつていないことから、今後、本年度中に景気は出

だ、今後病院の移転新築
画と合わせて検討していく

医療懇談会の報告書の位置付けは、
副市長 医院の皆さんから
地域医療のためにいろんな
提言をいただいた。100
%具現化するのは誰（ハガ）

A black and white portrait of a middle-aged man with dark hair, wearing a pinstripe suit, white shirt, and tie. He has a serious expression and is looking slightly to his left. The background consists of horizontal window blinds.

日本共産党 高橋 悅郎 議員

ここが

今回質問した項目

- ・新庁舎建設について
 - ・西根病院経営について

企画総務部長 JRは、駅間については何メートル以上でないとダメといった考え方ではないことと、この構想には今の段階ではオーケーといふことは言えないが、市の計画内容を見ながら協議していく方向である。駅建設費

高橋議員 公立病院の経営力が厳しさを増す中、今後地域医療どう守り、市民の要望にどのように応じていくべきか、西根病院の中長期の経営ビジョンが必要だが。

持つて働くことができる環境づくりが必要と思われるが、そのための新たな医療機器の導入の考えは。

高橋議員 JR平駒駅と北森駅間の距離は、花輪線全区間の中で最も短い1・9kmだが、さらに短くして許可されるのか。また、庁舎との併設となれば、駅舎建設費は市の負担になるのでないか。建設費をいくら

について 庁内の検討委員会で
そして 庁外の検討委員会で
検討を重ね、その後市民か
ら意見募集をし、本年度内
に策定する予定である。

長期化傾向なども検討していきたい。

意欲的に医師が働く 医療機器導入の考え方

100

開催された
（公民館）

高橋議員 西根病院の大き
な課題は持続的な医師確保

卷二

11



昨年5月から6月にかけて、市内11カ所で開催された市庁舎建設基本構想住民説明会（写真・浅沢公民館）

一般質問

ここが



日本共産党 米田 定男 議員

聞きたい

今回質問した項目

・消費税について

税制度から見た消費税の本質は

低所得者層ほど重い負担は事実



平成元年4月1日に税率3%でスタートした消費税は、平成9年に5%（地方消費税1%含む）となりました

米田議員 税率引き上げなどの政策判断の見解ではな

く、税制度から見た消費税の客観的な判断の見解を求

められるのが、本質問の趣旨である。

第1に、本来の税の役割、

めある。この立場から必然的に出てくる税賦課の二つの原則は、累進課税と生計費非課税である。なぜなら所得にかかわらず同じ税率だとか、生活費に食い込むほどに低所得者に課税すれば、再配分機能が発揮されないからである。

第2に、消費税は所得にかかるなり同じ税率であり、また課税制限もなく税の本来の趣旨に反するものと判断せざるを得ないものである。

第3に、所得の低い世帯ほど収入に対する食料費の割合が高くなるのは、エンゲル係数という指標の存在でも明らかである。食料品が課税対象だと逆進性を加速することになる。税の本来の役割から見て、理論的には食料品非課税が当然ではないか。

市長 税には、所得の再配分機能の役割を果たす累進課税による所得税などと、消費に広く租税力を求めた課税としての消費税が存在する。基準を収入において所得課税と支出において消費課税のバランスの問題だと認識している。生活必需

品にも一律課税なので、低所得者層ほど重い負担であると認識している。非課税権の拡大を国レベルで検討するよう、地方からの発信も必要と考える。

市長 所得の再配分機能を発揮して、社会全体の均衡を図るのが税の基本であり、それを実行するのが政治である。低所得者を念頭に置いて税の在り方にについて考

する。だから、消費税は本質的に不公平な税であり、所得の再配分機能の発揮を抑制する役割を果たす税であるが。

市長 所得の再配分機能を発揮して、社会全体の均衡を図るのが税の基本であり、それを実行するのが政治である。低所得者を念頭に置いて税の在り方にについて考

一般質問

ここが

今回質問した項目

- ・畜産振興について
- ・八幡平スキー場について
- ・市長の次期市政施策について



八起会 小野寺 昭一 議員

聞きたい

畜産振興計画の策定は

具体策を検討中である

小野寺議員 本市の農業粗生産額は約141億7000万円で、そのうち畜産部門は約70億円となっている。酪農と肉用牛の生産額は32億4000万円で、本市の農業生産額の約23%を占め、米に次ぐ基幹となっているが、長期的施策が必要と思われる。畜産振興計画の策定状況は。

市長 平成17年度に酪農牛用牛近代化計画を策定し10年後の畜産振興目標を計画とし、市畜産振興の基本方針となつておらず、その内容を踏まえて、関係機関で具体策を検討し、畜産の活性化を図っていく。

小野寺議員 穀物価格や燃料価格の高騰、畜産価格の低迷で厳しい状況にある畜産農家に粗飼料の支援、放牧料減額などの考えは。

小野寺議員 平成20年度導入の「えさ米」の今後の支援とTMR（完全飼料）の推進状況はどうか。

市長 養豚農家などの需要量を的確に把握し、産地確立交付金等制度を利用しながら、飼料米の面積を拡充する。平成18年度から稼動しているTMR飼料の需要は高まる方向にあり、農協とも協議しながら供給体制をつくり支援していく。

休業八幡平スキー場現状と今後の対策は

農と輝の大地創造に向かた次期市政運営

小野寺議員 「農と輝の大地」創造に向けて市長は、市総合計画、行財政改革実施計画に取り組んで推進しているが、次期市政運営をどのように描いているか。

市長 平成21年度において

小野寺議員 八幡平スキー場が休業し引き受け先も決

市長 国の政策展開が非常

まらず2年目を迎えるようとしている。また国有林使用期限も12月末となつていて、旧3町村の牧野使用料で一番安い額に設定させていた

だしている。

市長 八幡平スキー場の休業は、地域経済に与える影響は多大である。盛岡地方裁判所の次回の審尋が年明けに行われる予定だと今後の対策を伺う。

市長 八幡平観光株式会社、県と連携し、継承先企業を引き続き探す努力をしていく。

に早く、これにどう柔軟に対応して建設計画と整合性を持たせるかと大きな課題を背負っている。今重要な時期だと認識している。市



畜産経営の効率化に貢献している市営牧野（写真・上坊牧野）

一般質問

ここが



日本共産党 山本 荣 議員

聞きたい

今回質問した項目

- ・基金活用による第4期介護保険料軽減について
- ・安代地区の除雪について

基金活用で介護保険料の軽減を

月額400円軽減の見込み



ふれあいセンター安代では、デイサービスなどの介護サービスが利用できます

山本議員 介護保険料は3年ごとに見直されるが、平成21年度から3年間の第4期介護保険料算定に当たっては、基金積み立ての全額を取り崩して、第4期計画において保険料軽減のため反映すべきである。盛岡

北部行政事務組合の平成19年度末基金残高は1億9600万円であり、平成20年度も4200万円積み立てている。これは介護予防サービス給付費の減が主な原因であるが、結果として保険料の取り過ぎとなつたも

年ごとに見直されるが、平成21年度から3年間の第4期介護保険料算定に当たっては、基金積み立ての全額を取り崩して、第4期計画において保険料軽減のため反映すべきである。盛岡

のである。

市長 介護保険は、3年間の事業運営期間ごとに介護サービスの見込み量に見合った保険料を設定することになつていて。保険事業運営期間の最終年度で基金残高がある場合には、次期の介護保険の歳入として基金を取り崩すことが基本的な考え方となつております。適正な額を取り崩し、繰り入れるべきものと考えている。

中でもすぐ除雪できる体制の確立を求める。

市長 12月からの除雪体制にこだわらず、臨機応変に対応していく必要がある。

山本議員 小型ロータリーなどによる、住宅地に通じる雪小道の除雪状況は。

市長 生活道路の除雪など地域からの要望については、現地を確認しながら対応したい。

山本議員 大雪により道幅が狭くなり、排雪が必要となつた場合の対応は。

建設課長 大雪の時、市はダンプなりロータリー車を出し、地域は自分のできる部分を、地域と協働の中で除雪を実施したい。

山本議員 水利があり流雪溝設置が可能な地域から流雪溝設置の請願が出されているが、その対応は。

市長 五日市地区流雪溝は国道282号への設置になることから、県に引き続き要望をしていく。

建設課長 市道平又根石、長者前線に設置の請願がなされれている件については、今後、現場踏査などの調査を行なが検討する。

山本議員 基金全額を取り崩して第4期計画に充てた場合、介護保険料はいくら軽減になるか。

市長 介護保険料基準月額で400円ぐらい軽減される見込みである。

安代地区の除雪対応
11月も可能な体制に

山本議員 市の除雪作業契約は、12月1日としているため、11月中の除雪対応は

一般質問

ここが

今回質問した項目

- ・農業振興施策について
- ・地域課題について



新生会 松浦 博幸 議員

聞きたい

一次産業農業農地対策は

集約的農業の推進方策を検討

平館線歩道整備計画の進捗

状況は。
市長 小・中学生や高校生の通学路として、また、生

と併せて検討を進めている。

各地域振興協議会や実施主

員会に求めていく。植林す

体の意向を把握し、着手時

ることは、農業振興地域内

に配慮した交付決定が通

であれば農用地からの除外

知できるよう検討したい。

や農地法に基づく農地転用

手続きが必要である。既に

植林している農用地も同様

である。

松浦議員 遊休農地や休耕

所があり、歩行者の安全確

保が危惧されているため、

活路線として重要な路線で

あるが、一部歩道未整備個

県に対し、再三歩道設置を

要望している。県では、歩

道の必要性は認識している

ものの、一部地権者の同意

が得られないことから中断

状況にある。地権者から同

意を得た上で歩道設置要望

を展開していきたい。

松浦議員 協働のまちづくり

事業に、同一事業は3年

り事業に、同一事業は3年

間継続できない課題につい

て、検討したか。

て、検討したか。

市長 まちづくり活動に積

極的に取り組んでいる多く

の皆さんから寄せられた意

見や要望を制度に反映させ

るため、実践マニュアルや

肥料や資材が高騰し、農業経営を取り巻く環境は厳しさを増しています

での一連の事務手続きは、

各地区振興協議会や実施主

の意向を把握し、着手時

に配慮した交付決定が通

知できるよう検討したい。

松浦議員 事業審査決定通

知を早く出してほしい。

市長 申請から決定通知ま

期に配慮した交付決定が通

知できるよう検討したい。

松浦議員 地域課題への対応は

現状把握し速やかに

自治体ハンドブックの作成

と併せて検討を進めている。

松浦議員 主要地方道岩手

市長 小・中学生や高校生

の通学路として、また、生

活路線として重要な路線で

あるが、一部歩道未整備個

所があり、歩行者の安全確

保が危惧されているため、

活路線として重要な路線で

ある

一般質問

ここが



新生会 田中 繁司夫 議員

聞きたい

今回質問した項目

- ・市の希望ある発展策の論理を
 - ・21年度の予算編成(重点)の構想
 - ・「定額給付金」の市長の裁量について

希望の持てる本市の発展施策は

堅実な施策を着実に推進



希望あふれる市を目指します（写真・寺田保育所の皆さん）

財政が硬直化しているが、実質公債比率は、18%未満にする取り組みを行つてゐる。このような状況の中、子育て、教育、市民生活、産業振興などの行政目的を達成する財源を確保するため、投資的事業は、必要性、優先度などによつて厳選し、交付税措置割合の高い地方債を活用するなど、財政負担に十分配慮しながら実施し、集中改革プランに基づいて事務事業を抜本的に見

市長 本市の平成21年度の財政運営は、一層厳しさを増すものとの考え方方に立つて、歳出は、人件費、公債費、扶助費などの義務的な経費の占める割合が増え、

田中議員 今期の市長の行政実績から、21年度の予算編成の構想（重点）は。

田中議員 国策の厳しさから地方経済の格差、生活をも疲弊している今日。希望の持てる八幡平市の発展施策の論理を伺いたい。

市長 私は昨年、市議会の施政方針演説で、地方は世界の経済動向や国の経済の影響を受けやすい立場から、

このようない時こそ、我々は
英知を結集して対処しなければならない旨を述べた。
市の総合計画基本構想や前
期基本計画に基づいて各種
施策の実現に鋭意努めてきた。市行政は、市職員と市
民の方々と互いの信頼関係の下に推進され、構築され

るものと考え、その上に市

**定額給付金の支給は
どのような見通しか**

田中議員 予想される「定額給付金」は、地方自治体に委ね、支給すると言われているが、市長の見解（裁量）を伺いたい。

市長 政府において、生活者の暮らしの安心、金融経済の安定強化、地方の底力の発揮の3分野の重点対策や、内需指導の裁量が可能となる経済の転換を進めるなどを柱とする生活対策を追加経済対策として決定されている。給付の実施に当たっては、年内に実施要綱が国から示され、給付額は、世帯構成員一人につき1万円、65歳以上と18歳以下には2万円が給付される。本市では、所得制限は設けず、住民基本台帳に登録されている方に給付されることになっている。なお、基準日は、1月1日か2月1日のどちらにするか、国で検討中である。

**定額給付金の支給は
どのような見通しか**

田中議員 予想される「定額給付金」は、地方自治体に委ね、支給すると言われているが、市長の見解（裁量）を伺いたい。

市長 政府において、生活者の暮らしの安心、金融経済の安定強化、地方の底力の発揮の3分野の重点対策や、内需指導の裁量が可能となる経済の転換を進めるなどを柱とする生活対策を追加経済対策として決定されている。給付の実施に当たっては、年内に実施要綱が国から示され、給付額は、世帯構成員一人につき1万円、65歳以上と18歳以下には2万円が給付される。本市では、所得制限は設けず、住民基本台帳に登録されている方に給付されることになっている。なお、基準日は、1月1日か2月1日のどちらにするか、国で検討中である。

定額給付金の支給は
どのような見通しか

緑松会

大和田順一（代表）、高橋光幸、
高橋俊彦、伊藤一彦、古川津好

観光振興や特産品開発学ぶ

緑松会では、昨年11月20日から22日まで、観光先進地の取り組みについて、三重県鳥羽市と大台町で視察を行いました。

◎三重県鳥羽市

鳥羽市は、三重県を代表する観光地である伊勢志摩地域に位置し、伊勢志摩国立公園の風光明媚な景観などが魅力です。

全国的な誘客力を有する伊勢神宮のある伊勢市に宿泊施設がないため、伊勢神宮の参拝者も多く宿泊しますが、大阪市や名古屋市などの大都市に近く、交通アクセスもいため、おいしいものを食べる「食」が目的で、鳥羽市を訪れる観光客の割合が最も高くなっています。



鳥羽市の観光施策について視察を行いました

水族館、真珠のミキモト、海の博物館、二見浦の夫婦岩などがまとまつてあり、相乗効果を生んでいるからです。また、イベントも、毎月30日の真珠婚の日を中心年間100日位あり、観光協会、商工会、旅館組合などの民間体制が積極的に取り組んでいます。

入湯税は、年間1億7000万円。平成19年4月から、観光振興のための目的税として導入されました。観光のほか、消防、環境や鉱泉の保護のために役立てています。

○三重県大台町

大台町は、「自然と人々が幸せに暮らすまち」をキャッチ

日本共産党会派では、原則として週1回の会議と必要な調査、研修視察などを適宜行うことを会派活動のスタイルとしています。

今回は、12月に実施した岩手県藤沢町への研修視察について報告します。

目的は、医師確保や病院経営を含む、地域医療確立の方向について学ぶことでした。

○医師確保についての特長

藤沢町民病院（ベット数54、常勤医師5人）

1、単に数の充足だけではなく、地域医療貢献に情熱を持った医師確保を一つの



藤沢町民病院の経営状況を視察しました

めにMRI（磁気共鳴画像装置）などの最新設備の導入や、医師研修の受け入れを積極的に行っていること。

◎福祉、保健、医療の一體的な推進

同一敷地内に病院、保健センター、特

別養護老人ホーム、デイサービスセンター、老人保健施設、訪問介護ステーションなどが設置されている。

大きな特長は、こ

れらを統括する形で福祉医療センターが設置され、全体が連携して一体的に活動が推進されていることである。

今回の視察を通じて、「住民が主人公」の具体的な実践の一

焦点にしつつ、理念を共有する自治医科大学と組織的に密接な提携を維持していること。

2、一方で、常に医療技術の向上を目指す専門家としての医師の欲求に応えるた

めにMR-I（磁気共鳴画像装置）などの最新設備の導入や、医師研修の受け入れを積極的に行っていること。

日本共産党

米田定男（代表）、山本榮、
高橋悦郎

地域医療確立の方向性研修

日本共産党会派では、原則として週1回の会議と必要な調査、研修視察などを適宜行うことを会派活動のスタイルとしています。

今回は、12月に実施した岩手県藤沢町への研修視察について報告します。

目的は、医師確保や病院経営を含む、地域医療確立の方向について学ぶことでした。

○医師確保についての特長

藤沢町民病院（ベ

ット数54、常勤医師5人）

1、単に数の充足だけではなく、地域医

療貢献に情熱を持った医師確保を一つの

焦点にしつつ、理念を共有する自治医科大学と組織的に密接な提携を維持していること。

2、一方で、常に医療技術の向上を目指す専門家としての医師の欲求に応えるた

めにMR-I（磁気共鳴画像装置）などの最新設備の導入や、医師研修の受け入れを積極的に行っていること。

委員会活動報告

議会広報特別委員会

期日：平成20年11月13日～14日

場所：宮城県丸森町

全国的評価高い広報

○宮城県丸森町

丸森町は、宮城県の南端に位置し、総面積273・34平方メートルのうち、約70%は山林である。人口は1万6452人。丸森町議会だよりは、平成19

年度全国町村議会広報コンクールで優秀賞を受賞するなど、全国的に評価が高い。

議会広報特別委員会は、委員6人で構成。定例会の翌々月1日に発行している。編集手順としては、一般質問は質

問議員が原稿を作成し、広報特別委員は議案審議などの原稿作成とともに、表紙などの写真撮影を行う。



保科議長(写真中央)のほか、丸森町議会広報特別委員の皆さんにも出席いただきました

本市の議会広報と比較し、一般質問は1人2分の1ページという制約があるが、追跡調査や住民の声を掲載するなど、充実した広報づくりに努めている。また、町民への原稿依頼も委員が直接行うなど、積極的に議会だよりを編集・発行していた。

議会の動き（10月～1月）

○10月

- ▶ 20～21日 宮古市議会・八幡平市議会合同研修会
- ▶ 24日 盛岡地区広域行政事務組合10月定例会
- ▶ 30日 県市議会議員研修会（盛岡市）

○11月

- ▶ 11日 市議会政務調査会産業建設部会
- ▶ 12日 福岡県宮若市議会行政視察対応
- ▶ 13日 全国市議会議長会基地協議会理事会（議長）
- ▶ 13～14日 議会広報特別委員会行政視察（宮城県丸森町）
- ▶ 14日 東隆氏死去（91歳・平館）＝昭和22年から48年まで、平館村・西根村・西根町議會議員を通算7期、平館村議会副議長を1期
- ▶ 17日 八幡平山系に係る直轄砂防事業促進期成同盟会関係市町村議會議員研修（仙北市）
- ▶ 17日 福島県本宮市議会広報特別委員会行政視察対応
- ▶ 18日 議会運営委員会、市議会第2回臨時会、議員全員協議会、総務常任委員会
- ▶ 25日 県知事を囲む会（議長）

- ▶ 25日 全国過疎地域自立促進同盟総会（副議長）
- ▶ 26日 第1回八幡平市女性議会

○12月

- ▶ 3日 議員全員協議会
- ▶ 8日 議会運営委員会
- ▶ 11～17日 市議会平成20年第4回定例会
- ▶ 11日 議会広報特別委員会
- ▶ 12日 総務・教育民生常任委員会、会派代表者会議
- ▶ 22日 議員全員協議会
- ▶ 24日 議会広報特別委員会

○1月

- ▶ 13日 議会広報特別委員会

3月定例会日程（予定）

3月定例会は、2月下旬から約3週間開催します。傍聴希望者は、市役所本庁へ当日おいでください。詳しい日程を知りたい方には、日程が決まり次第（定例会初日のおよそ3日前）、ファックスでお知らせします。

詳しくは、議会事務局（☎76-2111、内線1323）まで。

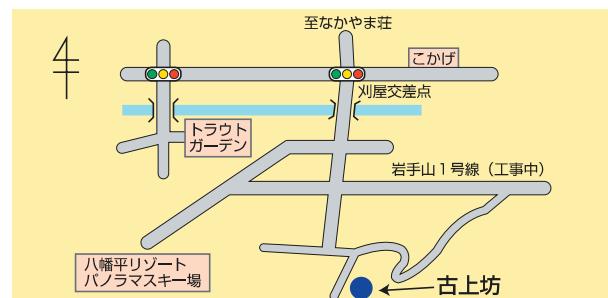


ここから先は男性しか通れなかったとされる結界御改場跡。巾23m奥行き4mにわたって土台石が残っています

隠れた名所探訪⑪

古上坊・結界御改場跡

昔、岩手山は山全体が信仰の対象でした。人々は、岩手山山伏神楽が今も伝わる旧平館村の巖鷲山北口別当大蔵院（東大薬房付近）から平館高校裏旧道を通り、寄木村鹿野経由で山頂を目指しました。女性の登山は明治初めまで許されず、古上坊の結界御改場先で新山宮を参拝し、下山したとされています。（場所：刈屋交差点から岩手山へ3.2km直進、T字路を左折し300m先を右折。500m先で左へ徒歩約3分。案内人の先導が必要）



議会広報特別委員会 委員長 副委員長 委員 古川津好	高橋悦郎 三浦榮吉	工藤剛 工藤直道
--	--------------	-------------

議会だよりの編集に携わって3年目になります。「市民の皆さんは議会だよりを読んでくれているだろうか？」そんなことを考える時があります。というのも、私は以前、あまり読まなかつたから…。それでも興味のあるページや見出しがあると、開いたのを思い出します。そんな目線に立って、特に政治に関心のない人たちにも、手に取つてもらえるような議会だよりを作りたいものです。皆さんからの、ご意見やご感想をお待ちしています。

あがとき



工藤 剛

表紙紹介

写真上：寺田保育所の園児たち
写真下：荒屋新町の工藤良造さんと
そのご家族（前列左から、瑞歩ちゃん
ん、洸太君、優也君。後列左から、
松美さん・良介さん夫妻と唯人君、
純子さん・良造さん夫妻）